

第2期播磨町スポーツ推進計画素案に対する ご意見及びご意見に対する町の考え方一覧

意見の概要と町の考え方（区分）

A：計画等に反映させるもの	2件
B：今後の施策・事業の参考とするもの	5件
C：計画等に反映済みのもの	件
D：感想や質問など	件
E：計画等に反映できないもの	件

番号	ご意見内容	ご意見に対する町の考え方	区分
1	播磨町内のスポーツ施設の利用者が26.9%とは低水準と言わざるを得ない。総合体育館の人工島付近は車も多く、アクセスに難があるのか？播磨町内の距離は短いことが明白だが、町でシャトルバスの運行など検討していただきたい。中学部活の地域移行もあり、各中学校からのスポーツ施設へのバス運行はぜひお願いしたい。	ご意見ありがとうございます。 町内のスポーツ施設の利用率については、アクセスの面だけでなく、スポーツ施設に対する認知度の低さ等も原因の一つであると考えられます。現段階ではシャトルバスの運行等については未定であるため、今後はソフト面で町内スポーツ施設の利用率向上に努めてまいります。	B
2	31ページ 下部より5行目 さまざま種目→さまざまな種目 よろしくお願ひ致します。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり文章を修正いたします。	A
3	当町では「SC21 はりま」が、町スポーツ施策の基幹組織となり、気軽に参加出来るスポーツの発展に寄与していると認識しているので、「2-(1)項地域のスポーツ活動の推進」で「『SC21 はりま』の充実」を施策にあげているのには同意できました。 昨今、手軽に活動できる個人参加型スポーツや無理なく活動できるボランティア活動参加の要望が強くなっているといわれています。反して私たちの協会は一定人数のメンバーを確保しなければ出来ない競技であり、また審判員・記録員や指導者等の運営役員は公的資格取得が必須で登録費など金銭的・時間的にも個人の負担が大きい等々、このような社会的要求にはマッチングしていません。その上にコロナ禍の影響もあり参加チームの激減や役員の高齢化で今後の継続が危ぶまれる状況になっています。 似たような状況の競技団体は他にもあるように聞いております。集団競技スポーツ団体が衰退すれば、運動部活の地域移行もままならなくなる等、町スポーツ環境の影響は大きいと思われませんが、「SC21 はりま」の中では、継続努力はそれぞれの団体が主体的に取り組む課題であり、あまり関与していないように思われます。 各団体の主体性は尊重しながらも、存続維持にいての適切な指導や活動事例情報の提供、団体間の意見交流練習会場の優先的貸し出しや会費負担軽減の施策等々、継続出来るための支援に積極的に取り組んで頂きたいと希望するところです。	ご意見ありがとうございます。 現在、各種目協会や各種団体等において、様々なスポーツの普及・啓発にご尽力いただいているところではございますが、多くの団体では、担い手不足や高齢化が課題となっております。 今後、運動部活動の地域移行やスポーツを取り巻く環境が大きく変化する中で、ますます各種団体等の活動が重要となります。 上記を踏まえ、これからも持続可能な形で町民すべての人々が多様なスポーツに親しめる環境を構築するために、団体の活動支援及び施策の展開に取り組んでまいります。	B
4	「町スポーツ協会」について 私たちの協会は、上部組織が「スポーツ庁」・「県スポーツ協会」に加盟しているため同様に「町スポーツ協会」へ加盟しており、主催・主管する大会の協賛や後援をお願いしています。 しかし、スポーツ庁の指導者資格の取得や取得後の町への登録など、一切「町スポーツ協会」を窓口としていませんし、「町スポーツ協会」がイベントを開催しそれに参加するということが殆どありません。そのようななかで、この組織の目的や私たち団体の果たすべき役割について、もうひとつ把握出来かねているのが実状です。 「2-(I)項地域のスポーツ活動の推進」の②項～⑥項に記載された内容に「町スポーツ協会」の担当業務があると捉えていますが、進計画実施部隊として「SC21 はりま」と「町スポーツ協会」を、どのような位置づけし、役割の違いや業務分担などをするのか、われわれ加盟団体にもっと判り易く見える化して欲しいと希望します。	ご意見ありがとうございます。 「スポーツクラブ21はりま」と「スポーツ協会」をはじめとする各種団体の位置づけについては、今後検討が必要になる事項と考えられます。計画内31ページ「②スポーツ関連団体の充実」の取組内容において以下のとおり文章を追加します。 ○町内の各種スポーツ団体と「スポーツクラブ21はりま」の関係性について、位置付けや役割分担等を整理し、共有することで、更なるスポーツの推進に向けた各種団体の活動の充実を図ります。	A
5	運動部活動の地域移行の対応に関して この方針については、マスコミなどでもいろいろと取り上げられていますし、私たちも中体連の先生方に話を聞く機会もありますが、組織体制・指導者・活動施設・費用負担あるいは生徒個々指導の一貫性などに多くの課題を抱えていると思われまます。	ご意見ありがとうございます。 運動部活動の地域移行を進めていくにあたり、町内外を問わず指導者の確保に努めているところです。町域が狭く、生徒や指導者にも限りがあることから、活動を町内に限定せず、広域的な視点での取組も進めていく必要があると考えています。	B

	<p>また学校内の部活動も、参加生徒減少で、異なる自治体の学校と合同で行うというケースも増えているのを見聞きしています。</p> <p>もし私たちの協会へ要請があったらどうするか、指導能力など考えると私たち協会が単独レベルで対応するのは難しく、上部団体や近隣自治体の同一競技協会と協調して取り組まざるを得ない状況にあると考えます。</p> <p>そういう意味で、この活動は、町内完結型の活動に限定することなく、周辺自治体とも協調して活動する柔軟性を持つ必要があると思われま</p>		
6	<p>「2-(2)-②項スポーツ情報の提供」に関して</p> <p>我々の協会では、小学生から社会人・シニアまでを対象とした県大会や近畿国体予選などを町施設で開催しています。今後は全国大会も予定しています。また一昨年には女子リーグ選手を招いて小中学生のスポーツ教室も開催しました。</p> <p>他の町内競技スポーツ団体も同様に、自主的にいろいろ大会やイベントを開催しているようですが、ほとんどその情報が流れておらず、どれも観客は保護者中心で非常に少ないです(コロナ禍下では観客制限ありましたが)。</p> <p>スポーツを身近に感じてスポーツに親しんでもらうきっかけにするため、いろいろな競技を観ることは大切だと思われま</p> <p>スポーツやトップアスリートのプレイだけではなく、本来は町内で開催されるいろいろなレベルのスポーツイベントも優先的に対象になるべきだと考えています。</p> <p>現在、施設管理者には、町施設を使用する場合、どんなイベントが何時どこで開催されるか、「大会開催申請書」などで把握出来るシステムになっています。「スポーツクラブ 21 はりま」などがそれらを把握できる町スポーツ組織は、自分たちが行うイベントだけでなく、個別競技団体の開催イベント情報も、もっともっと町内に広報して欲しいと希望します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「観るスポーツ」という観点においては、トップレベルのアスリートの競技を観戦することはもちろん重要ですが、身近なスポーツ施設において実施される大会等を観戦することもスポーツを始めるきっかけとしては非常に重要であると考えます。</p> <p>現在、町内にて各種団体等における大会等についても頻繁に開催されているものの、関係者以外の観戦者が少ない状況であることからスポーツクラブと連携し、SNS やホームページなど多様な手段で効果的な情報発信に努めてまいります。</p>	B
7	<p>昔は子供会のソフトボール等、身近にスポーツとの関わりがあったが、近年そのような団体が減少しつつある。その中でスポーツに対するきっかけが少なくなっていると思う。</p> <p>子供や大人でも身近にスポーツに対するきっかけがあれば人口も増えてくるのではないかと思う。例えば無料のスポーツ体験等のイベント、それを定期的に行うことによる口コミでの広がりや友達と参加などの可能性が出てくる。</p> <p>子育て世代や働き盛りの世代には時間とお金が無いので、スポーツへのきっかけとなるのは夜間のスポーツ施設の開放、夜中12時くらいまで開いていけば利用者も増えるのでは？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画の4章において、子どものスポーツ活動の推進、ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進という項目を設け、各種取組内容を記載しております。</p> <p>幼児から高齢者に至るまで、それぞれのライフステージ・ライフスタイルに応じて多様な形でスポーツ活動に親しんでいただけるよう施策を展開してまいります。</p>	B